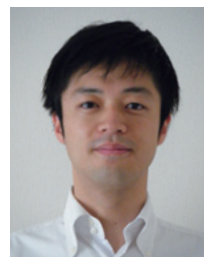


4K対応液晶テレビ “AQUOS” LC-60UD1



開発者より



デジタル情報家電事業本部
グローバル商品企画センター
グローバル商品企画推進部
上杉 俊介

フルハイビジョンの4倍の解像度を持つ高精細な液晶パネルを採用したAQUOSです。高画質・高音質機能をふんだんに盛り込み、リビングのメインテレビにふさわしいAQUOSが誕生しました。大画面・高精細な映像と、迫力の音響をお楽しみください。

AQUOS LC-60UD1は、リアルな映像表現にこだわった、話題の「4K対応テレビ」です。採用した液晶パネル「4Kモスアイ[®]パネル^{※1}」は、フルハイビジョン（1,920x1,080画素）の4倍となる4K解像度（3,840×2,160画素）の緻密な映像を表示するとともに、外光の映りこみを抑え、見やすく、くっきり鮮明な映像を再現します。さらに、入力映像を4K解像度に高精細化する新画像処理回路「AQUOS 4K-Master Engine PRO」を新開発し、地上デジタル放送やブルーレイなどの2K解像度画像も、4K解像度の高精細でリアルな映像として再現することができました。これらの高画質が認められ、米THX社による「THX 4Kディスプレイ^{※2}」の認証も取得しています。音質面でも妥協せず、低振動ウーハ「DuoBass」と、音抜けのよい「2.1chフロントサウンドスピーカシステム」を採用し、迫力ある高音質を実現しています。高画質性能と高音質性能を両方備えた4K対応AQUOS、ぜひお楽しみください。

※1 モスアイ[®]は、大日本印刷株式会社の商標または登録商標です。

※2 THX 4K Display Certification, 2D映像表示時の認証を取得。THXはTHX Ltd.の登録商標です。

4Kモスアイ[®]パネル

高精細4K液晶パネルに、当社独自の「モスアイ[®]パネル」が融合した高画質液晶パネルです。蛾の目の構造を応用したナノ単位の微細突起が反射光の屈折率を連続的に変化させ、外光の映り込みを抑えます。光を拡散させる低反射技術とは異なり、映像の発色がそのまま目に届くので、コントラストの効いたくっきり鮮明な映像を視聴頂けます。さらに、高い輝度均一性により、入力信号に忠実な映像表示も実現しています（[図1, 2, 3](#)）。

AQUOS 4K-Master Engine PRO

2K解像度の映像を高精細な4K解像度の映像に変換する画像処理エンジンを新開発しました。前段のデュアルコア2K高画質化回路でフルHDの入力映像を高画質化し、後段のアップコンバート回路で4K解像度に高精細化し映像のディテールをリアルに復元する仕組みで、4Kコンテンツがなくても、地上デジタル放送やブルーレイディスクの映像をアップコンバートして、迫力ある4K映像を楽しんでいただくことができます。

2.1chフロントサウンド

幅広い音域の再生に適した3種類のスピーカ（サブウーハ、ミッドレンジ、ツイータ）で構成し、豊かな音を再生する音声システムを採用、その前面は金属製のパンチングネットで保護し、音抜け性も確保しています。さらに、サブウーハには二つのユニットを対向配置して同時に駆動することで互いの不要振動を相殺し、力強い低音を再生する「DuoBass」を採用。クリアでパワフルな高音質を実現します（[図4](#)）。



4K (3,840 × 2,160) 解像度 (約829万画素)

2K (1,920 × 1,080 : フルHD) 解像度 (約207万画素)

図1 4K解像度のイメージ

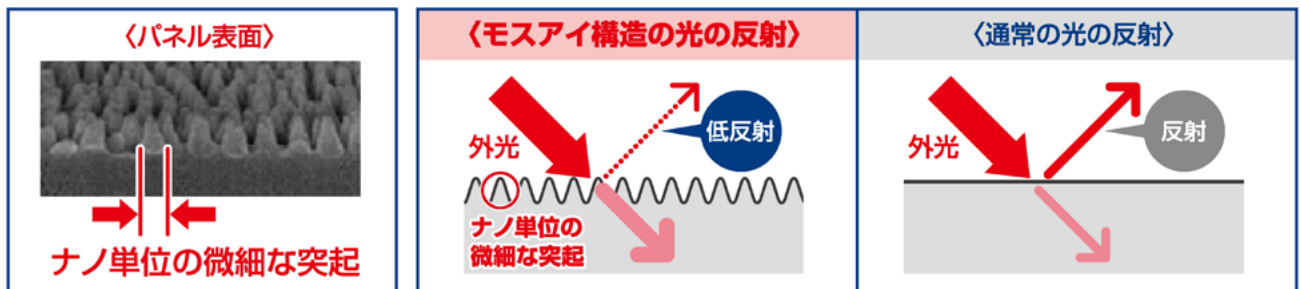
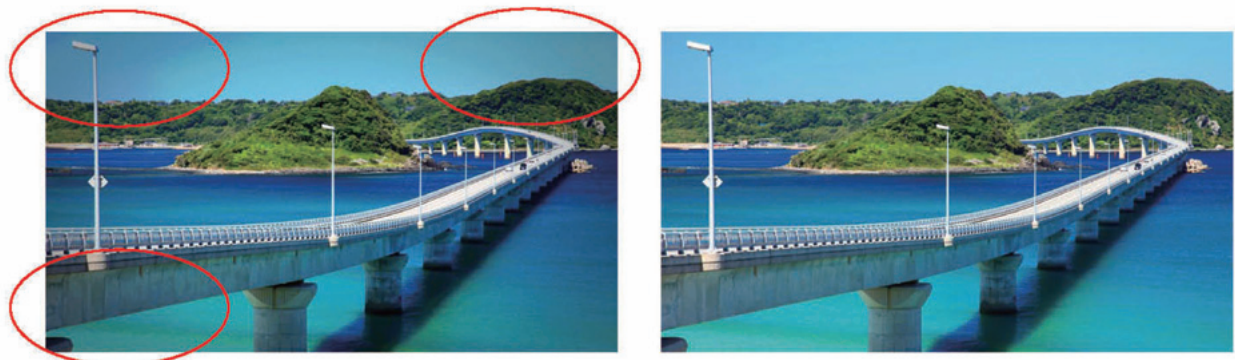


図2 モスアイ®パネルの構造



従来機 (輝度均一性が低い液晶パネル)

今回新製品 (輝度均一性が高く、入力信号に忠実な映像表現)

図3 輝度均一性のイメージ (当社比)



図4 低振動ウーハ「DuoBass」と、「2.1chフロントサウンドスピーカシステム」
(スピーカの配置はイメージです)

本記事は2013年10月に当社ホームページに掲載したものです。